

出羽 孝史



リオ・デ・ジャネイロ日本商工会議所は50歳

1969年の12月、日本航空の支店を開設にサンパウロからリオに参りました時、誠に申し訳ありませんが、私は商工会議所の存在をよく存じませんでした。

リオにはしばしば来ておりましたが、用件はブラジル民間航空局と日本大使館。大使館は運輸省から出向の書記官とのコンタクト。

その頃、大使館はランジェイラス通りの192番地(古い二階建ての大邸宅、現在はアパート・ビル)にあり、1970年の元旦の朝、広い大使館の庭で大使主催の新年祝賀会に初めて出席、当時の会議所を含むリオ地元の皆様にお目にかかる機会を得た次第です。

大使館は1971年、ブラジリアに移りまして、それからのリオの日本国代表公館は総領事館です。

日本航空は1960年代の後半からマーケットの状況に合わせて羽田/サンパウロのチャーター便を運航。ブラジル路線の定期便が企画されていまして、リオ・デ・ジャネイロ支店の開設は1970年の3月11日でした。

会議所の最初の名称はリオ・デ・ジャネイロ日伯商業会議所。大堀義信会頭(イシブラス副社長)のお誘いで入会させていただきましたのは日航のリオ支店開設直後のこと。

当時のリオ。日本から進出の大型企業は石川島播磨造船所、ISHIBRAS - ISHIKAWAJIMA DO BRASIL ESTALEIROS S/A。派遣員数が百六十人以上、ブラジル現地採用の従業員数が六千六百人以上であったと伺っております。

その頃の会議所は親睦会のような存在であったようで、月に一回の昼食会。初めて出席させていただきました昼食会はフルミネンセ・フットボール・クラブのサロンでした。

記録によればリオ・デ・ジャネイロ日伯商業会議所の設立は1955年の9月25日。仮事務所は日伯文化センターの中であったとのこと。1969年の11月、イシブラス社内に移転。1971年の12月、リオ・デ・ジャネイロ日本商工会議所に改名。1972年の半ばからリオ日系協会の会館内(当時テオフィロ・オットーニ街)でした。1977年の8月、事務局をAv. Franklin Roosevelt, 126/709に設立。以上が記憶致します初期のリオ・デ・ジャネイロ日本商工会議所についてのあらましです。

リオの日本商工会議所が他の地区とは異なると思われる点。現在、正会員26社の中、24社が日本からの進出企業であり、現地会社は少なく2社のみと言うことです。

1980年、会議所が25周年記念誌を発行した当時の正会員数は71社でしたが、年々少なくなり、私がサンパウロからリオに移転するきっかけになりました日本航空のリオ支店も閉鎖になり、今は総代理店が販売業務を受け継いでいます。

会議所の初代会頭はカーザ東山の代表であった後藤武雄氏。現在、26代目の会頭は伯国三菱商事の堤寿彦リオ・デ・ジャネイロ支店長です。

会議所とは関係のないことですが、ブラジルについて少々。

1889年の11月15日、軍部が皇帝ドン・ペードロ二世を追放し、連邦共和制国家を設立、DEODORO DA FONSECA陸軍元帥が初代大統領。共和制は1930年まで続きまして、この年、リオ・グランデ・ド・スール出身のGETULIO VARGASがクーデターによる政権乗っ取りで、1945年まで16年間の独裁政権でした。ヨーロッパでのヒトラーやムッソリーニとほぼ同じ年代です。

1946年、国民投票なるも軍部主導の時代、EURICO DUTRA 陸軍大将が選出されましたが、次の1951年の選挙では元独裁のGETULIO VARGASが立候補して当選、再び大統領の座に。しかし1954年、リオの大統領官邸、カテテ宮にて自殺。ここで合計20年に及ぶVARGAS政権が終わります。

それから1964年までの10年間は民主制の選挙なるも、辞任あり追放ありの混乱で、1964年から1985年の21年間は陸軍が高級将官を大統領に任命する軍事政権でした。1985年からブラジルは国民投票に戻り、現在のLUIZ INACIO LULA DA SILVA - ルーラ大統領は軍事政権後の5代目(共和制の30代)、2002年10月の選挙で当選し、翌2003年の1月元旦に就任。ルーラ大統領はペルナンブコ州の田舎町、グアラニユンスの出身で、子供のころ家族と共にトラックの荷台に乗ってサントスに移住。家計の援助に街路でピーナツを売り歩いたこともあり、青年時代はサン・ベルナルド・デ・カンポの工場で機械工。その頃から政治運動に身を投じ、野党の過激派、労働者党のリーダーであったこともあります。学歴は小学校のみ、ピーナツ売りから国のトップ。立身出世を絵にした偉大な人物です。

日系協会について。

リオ・デ・ジャネイロ日系協会は1972年に設立。翌73年から5期10年間、不肖私が会長を仰せつかりまして、運動会、フェスタ・ジュニーナ、盆踊り、その他は常に会議所の協力、又は共催で行われて参りました。

リオ・デ・ジャネイロ日本商工会議所、現在の事務局はRua Senador Dantas, 80/1401, 2005年9月25日、半世紀を迎えました。

私事で恐縮ですが、私は1988年の12月、30年以上勤めました日本航空を退社、翌1989年の1月から旅行代理店ツニブラ・トラベル、リオ・デ・ジャネイロ支店に勤務、現在に至っております。